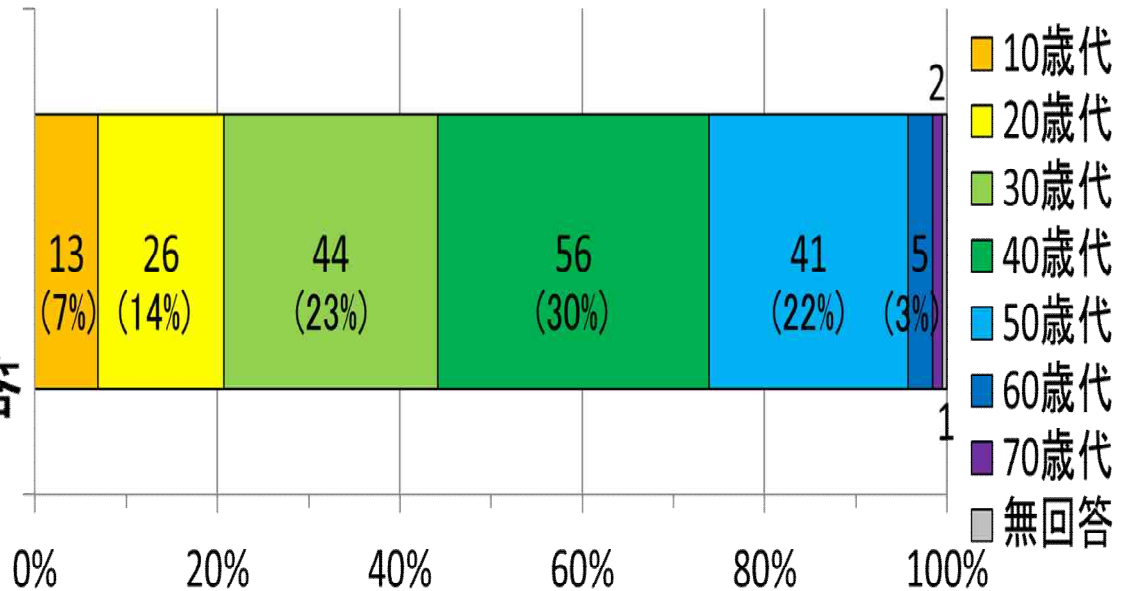
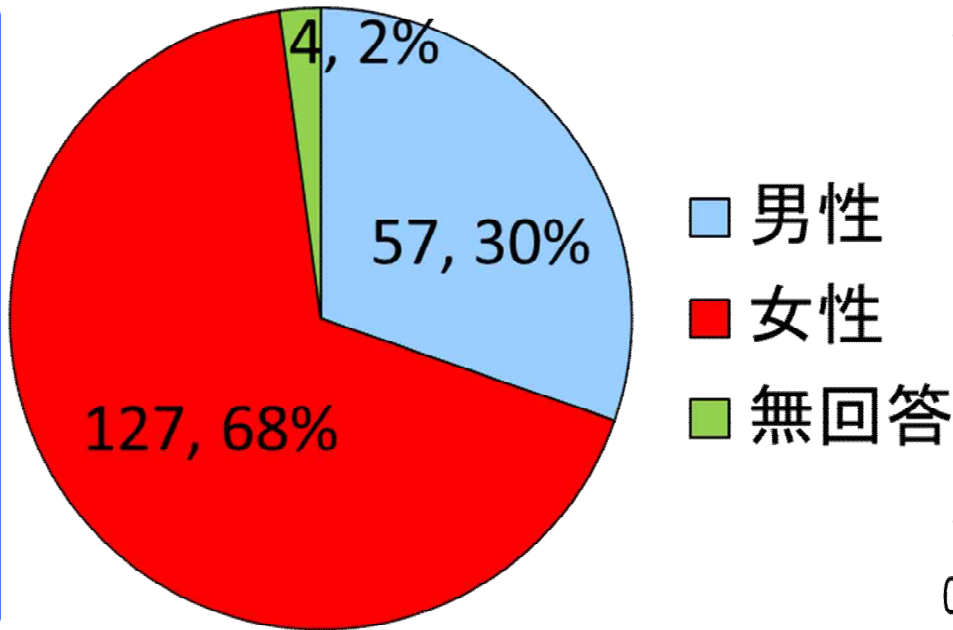


静岡県 新型コロナウイルス  
の罹患後症状（後遺症）  
アンケート調査結果  
デルタ株以前とオミクロン株の比較  
（2022年4月15日時点）

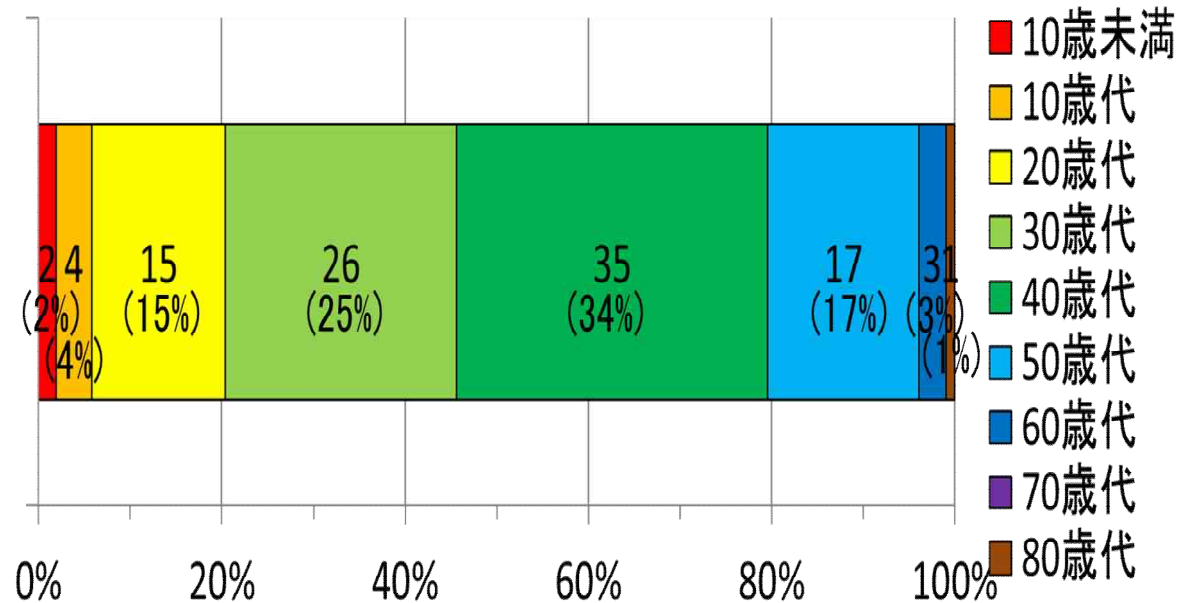
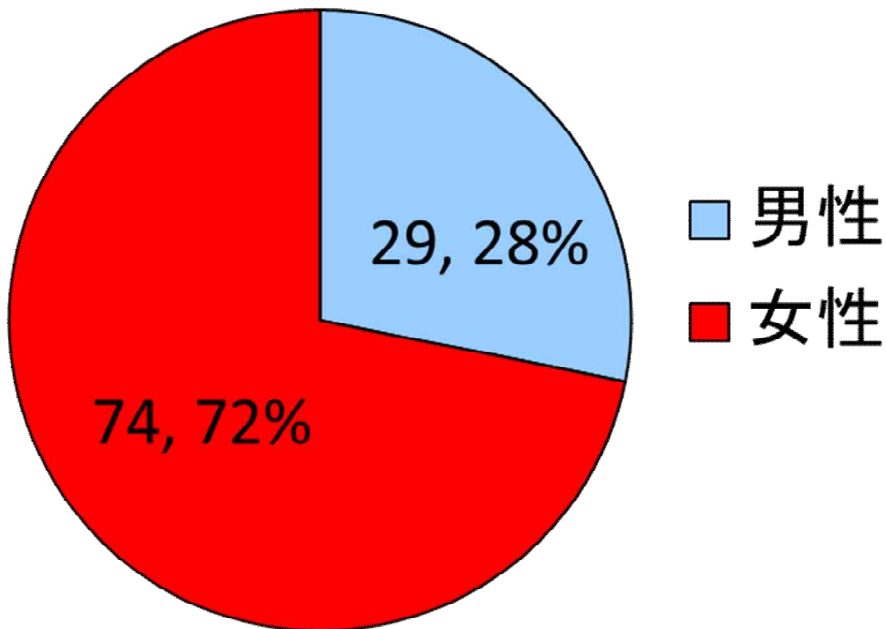
静岡県健康福祉部 新型コロナ対策企画課

# 回答者デルタ株以前188人とオミクロン株103人の性別・年代

デルタ株以前



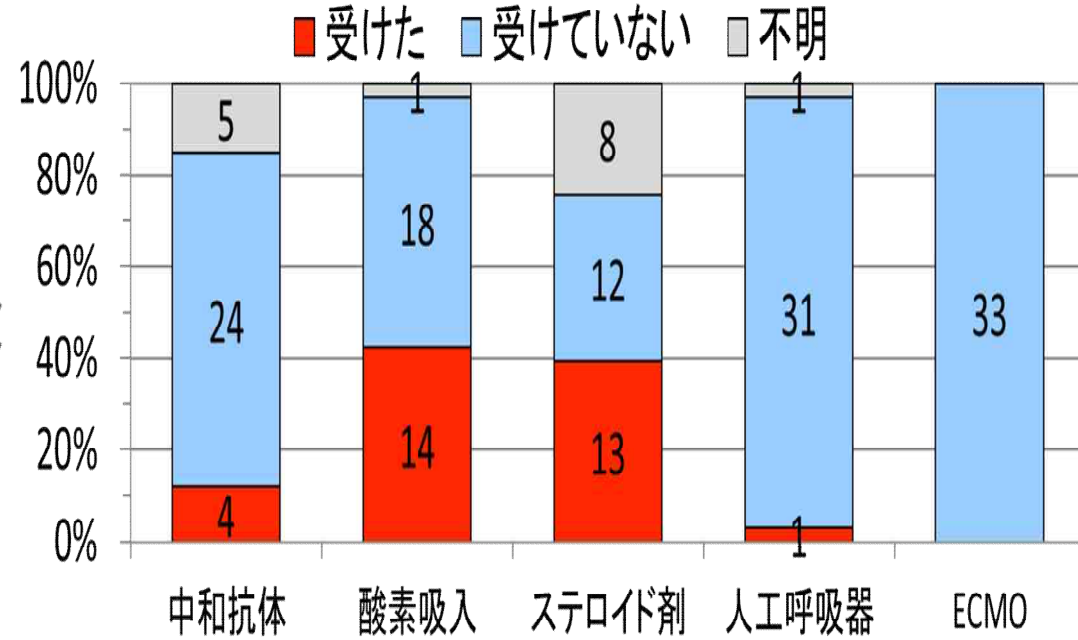
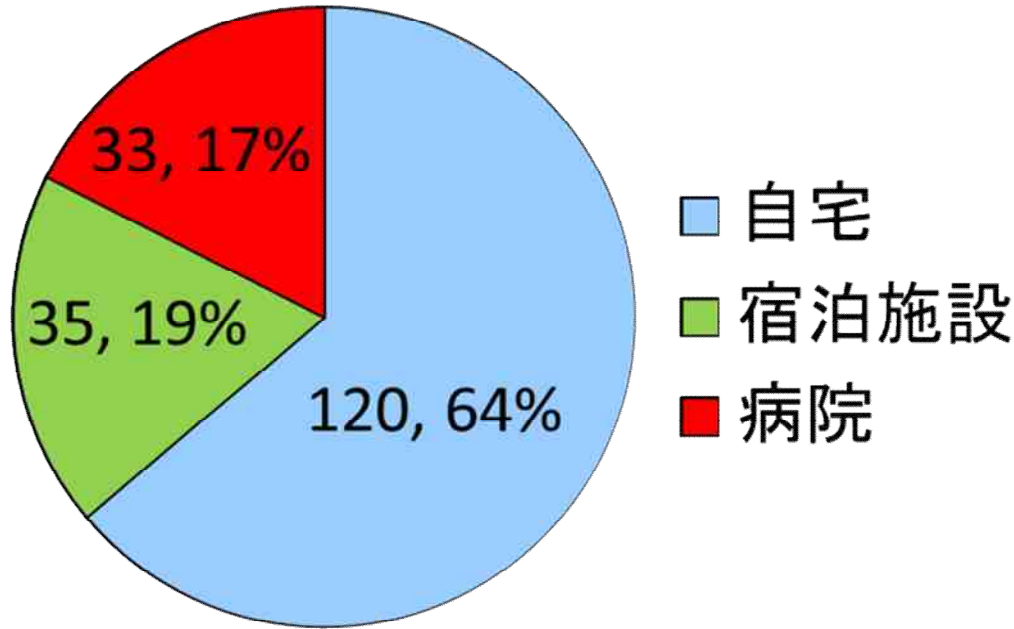
オミクロン株



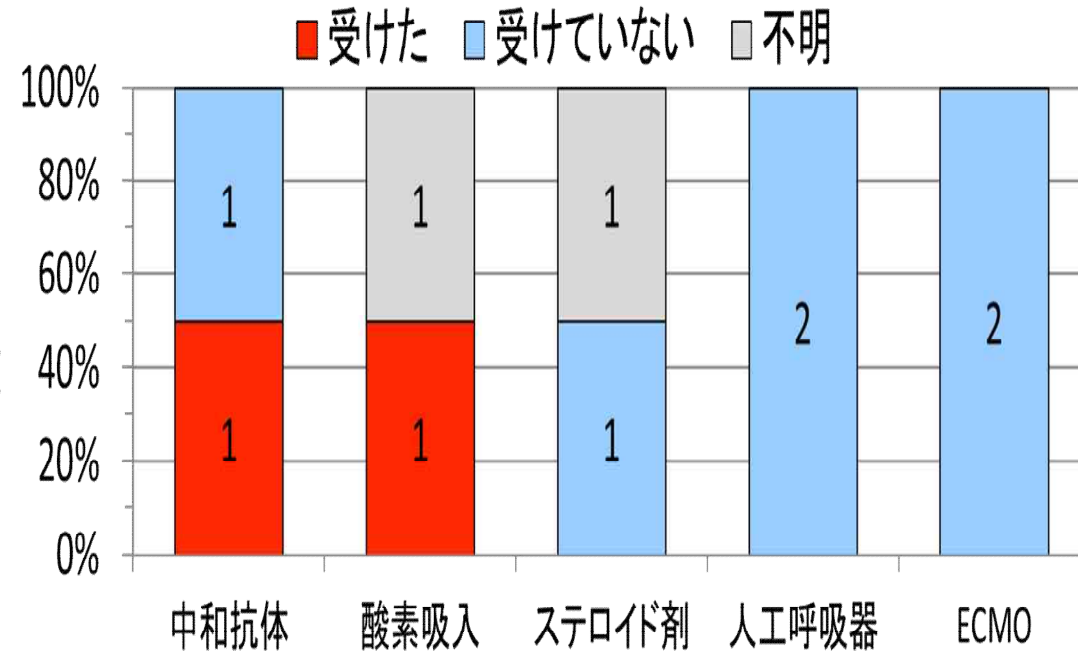
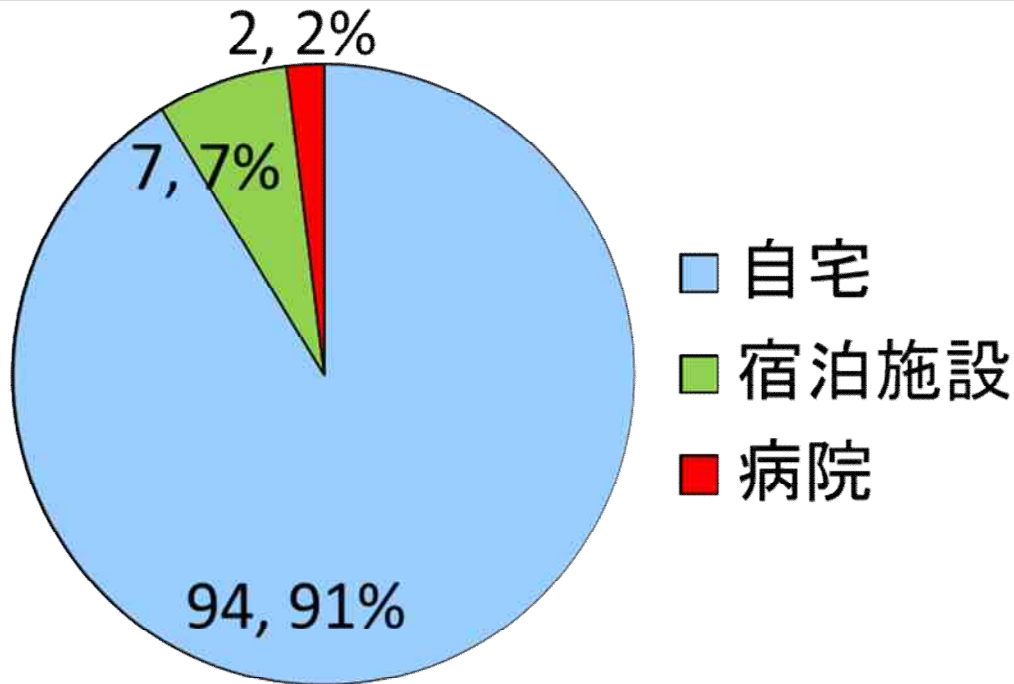
- ・性別は、女性が約7割を占めるのは変わらない
- ・年代は、オミクロン株は20歳代、30歳代がやや増加し、40歳代が減少

# 回答者の療養場所と治療内容

デルタ株以前



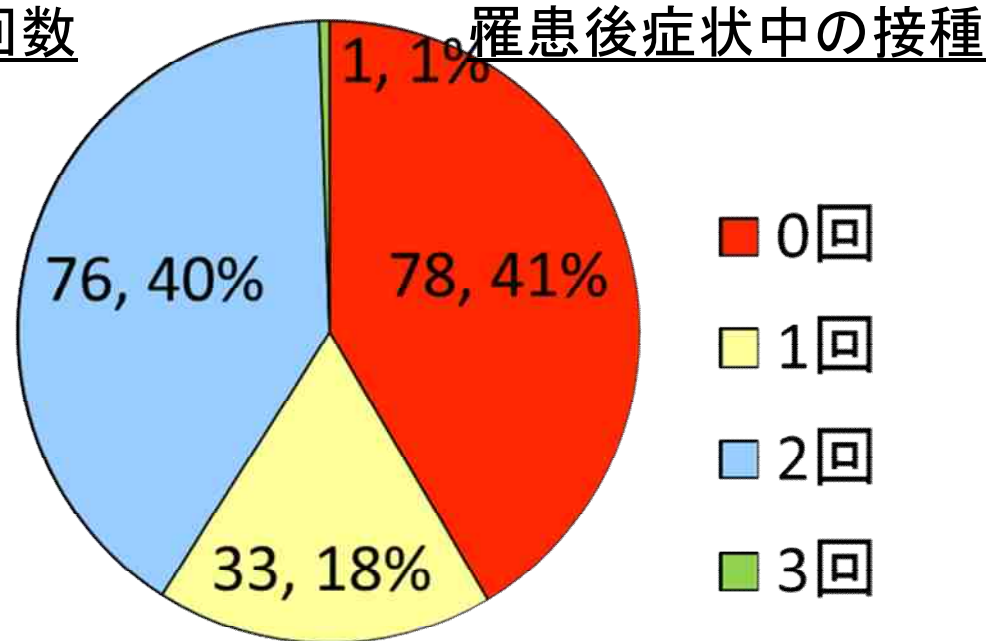
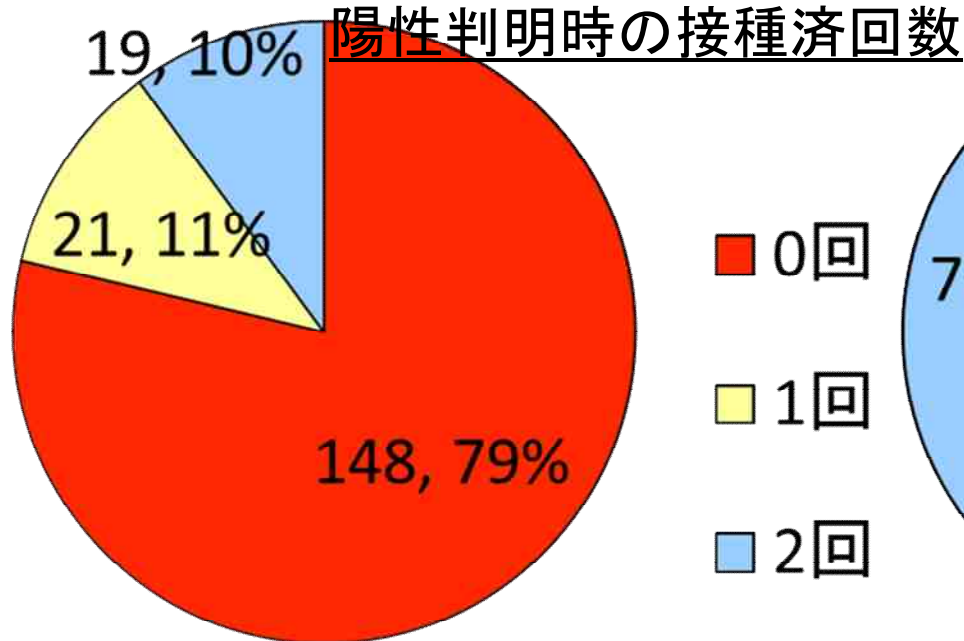
オミクロン株



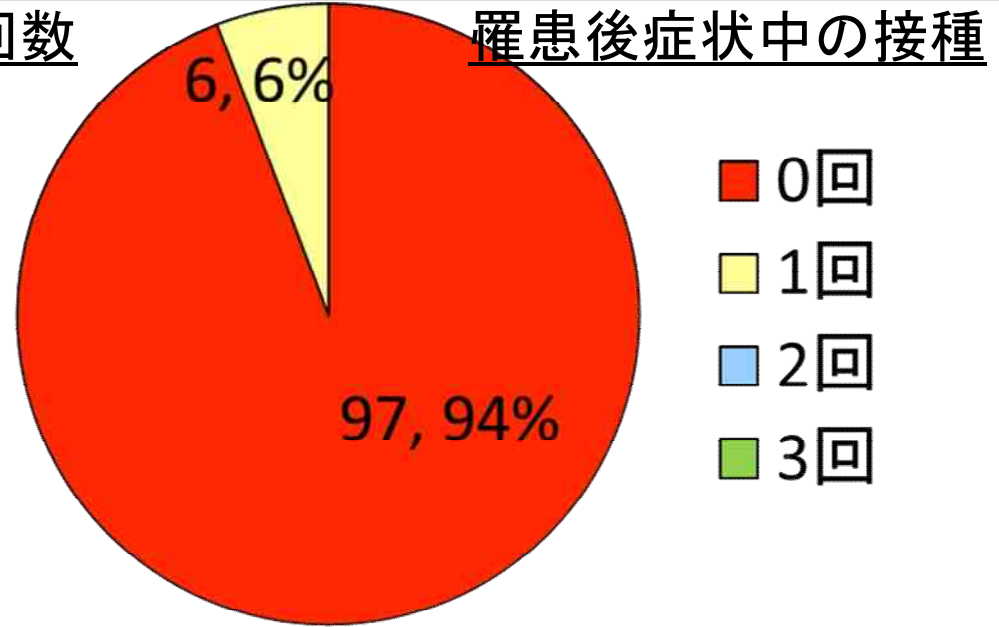
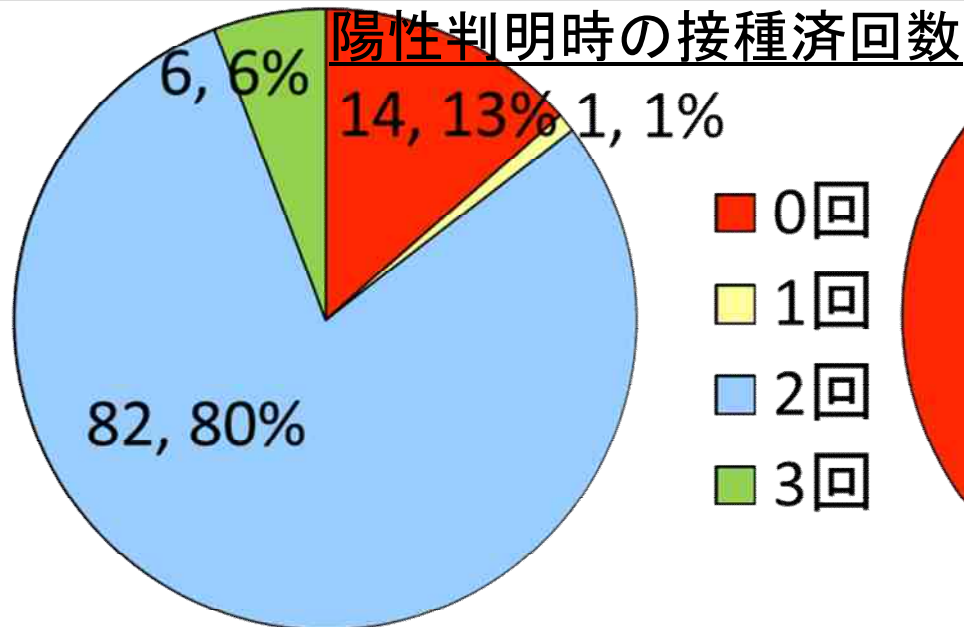
・自宅療養が3割近く増え、宿泊・入院は10ポイント以上減少

# 回答者のワクチン接種状況

デルタ株以前



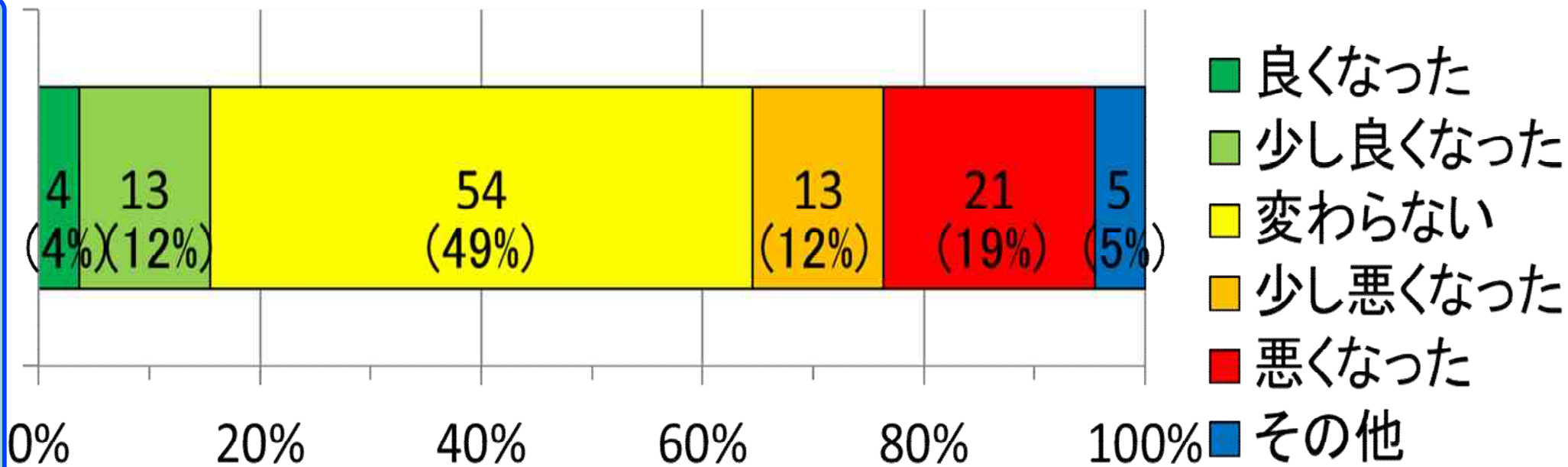
オミクロン株



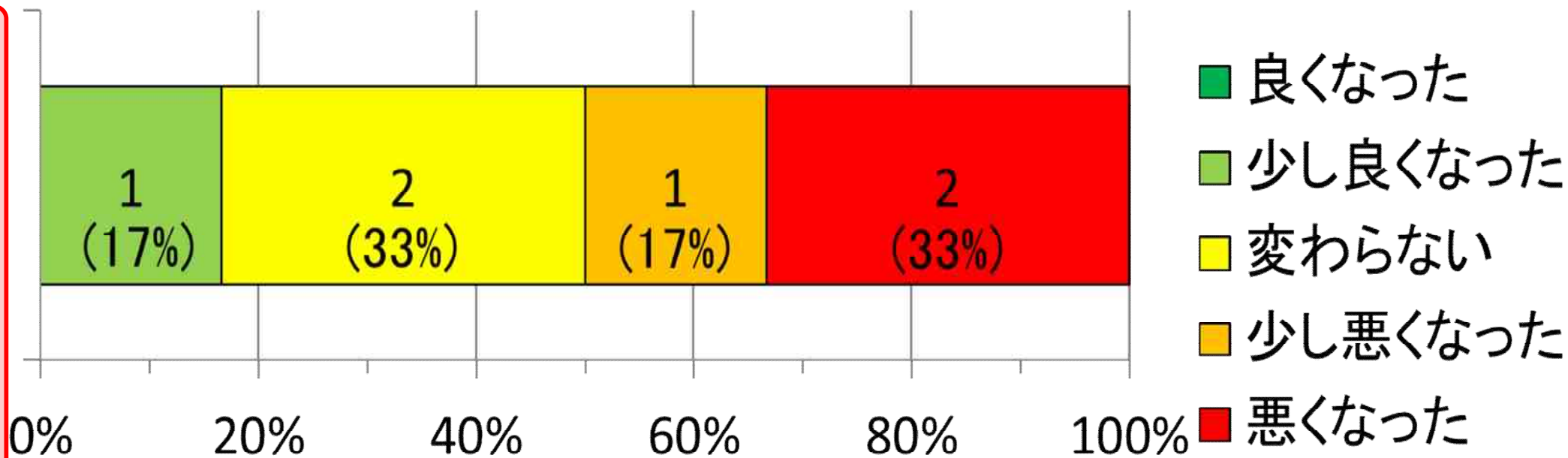
- ・陽性時の接種回数は、デルタ以前は約8割が0回、オミクロンは約8割が2回
- ・後遺症時の接種は、デルタ以前は約6割が接種したが、オミクロンは6%のみ

# 回答者のワクチン接種後の罹患後症状の変化

デルタ株以前



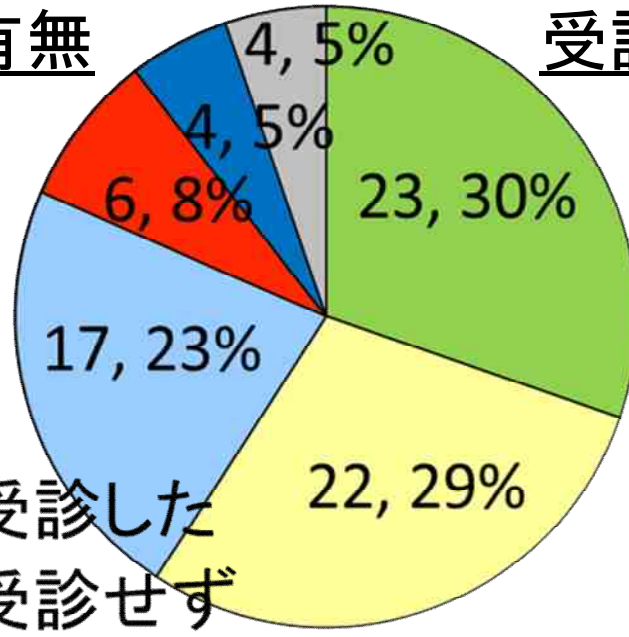
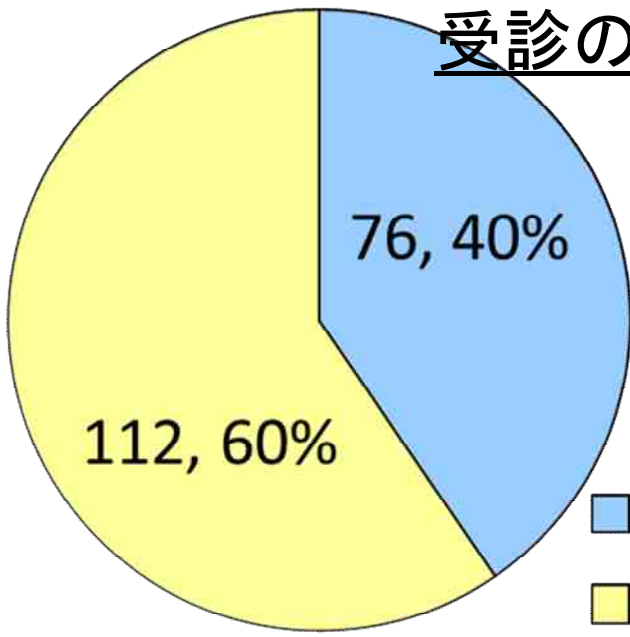
オミクロン株



・ワクチン接種による後遺症の改善は、デルタ以前もオミクロンも2割弱だが、後遺症悪化は、デルタ以前の約3割に対してオミクロンでは5割

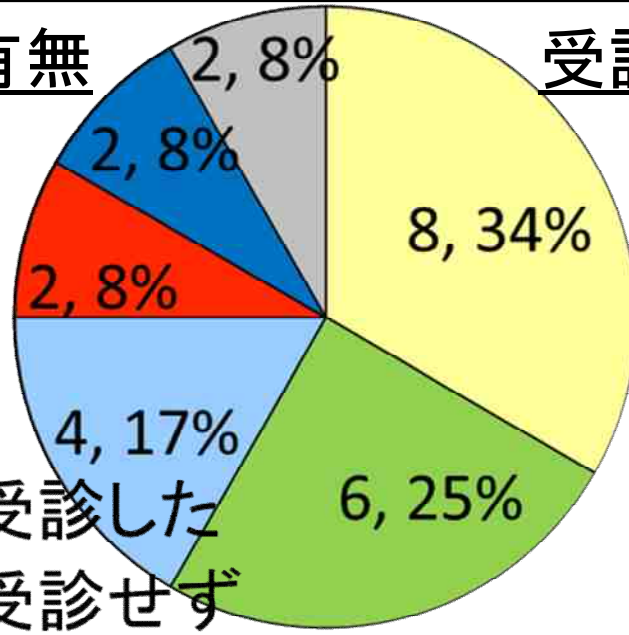
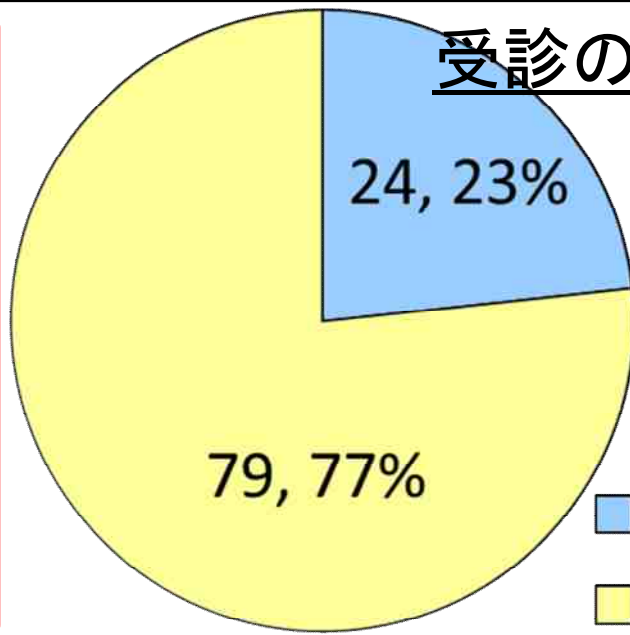
# 回答者の受診の有無と受診医療機関

デルタ株以前



- その他の近隣の医療機関
- かかりつけ医
- 後遺症専門外来
- コロナを治療した医療機関
- 陽性の診断を行った医療機関
- その他(複数2人,勤務先,オンライン)

オミクロン株

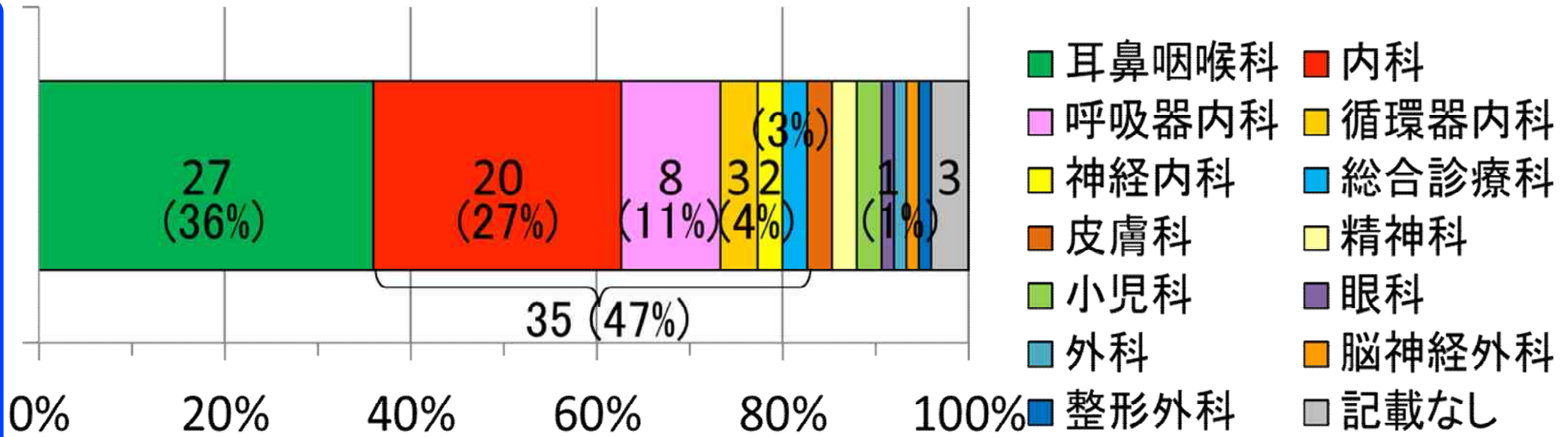


- かかりつけ医
- その他の近隣の医療機関
- 後遺症専門外来
- コロナを治療した医療機関
- 陽性の診断を行った医療機関
- その他(自分で検索,記載なし)

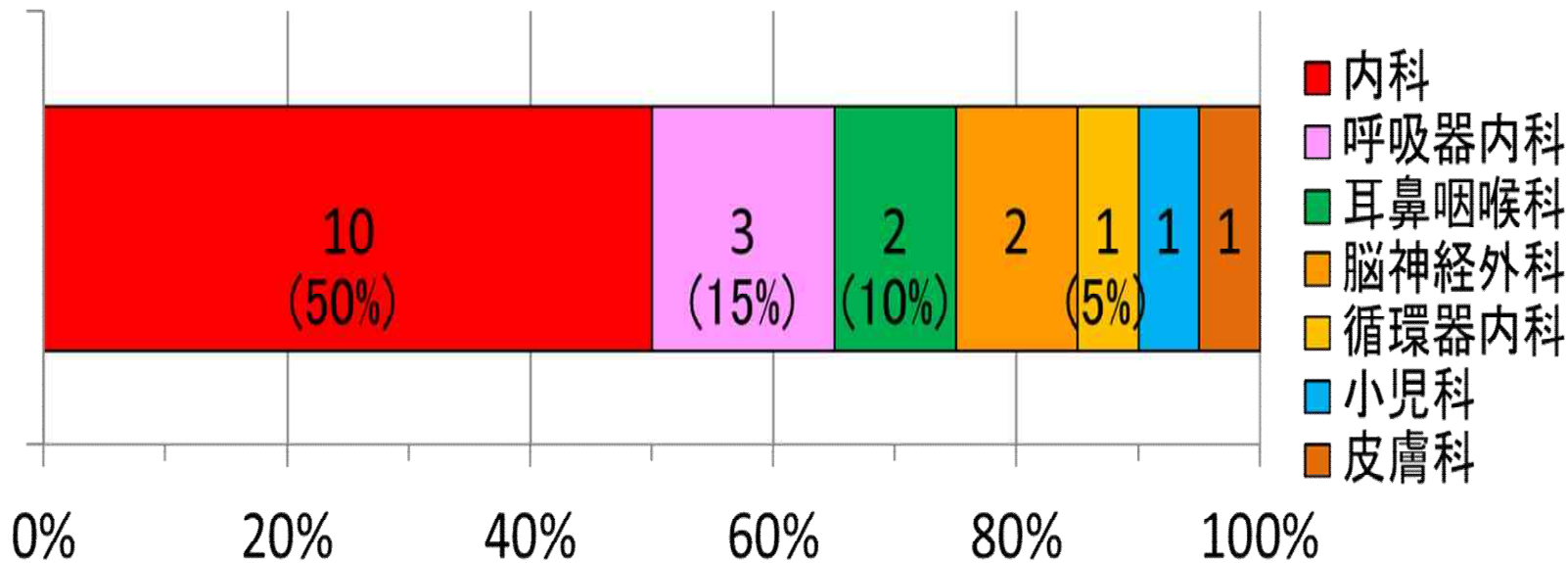
・受診率は、デルタ以前の4割に対してオミクロンは約2割と低下  
 ・受診先は、デルタ以前・オミクロンともにかかりつけ医と近隣医療機関が約3割ずつ

# 回答者の受診した診療科

デルタ株以前



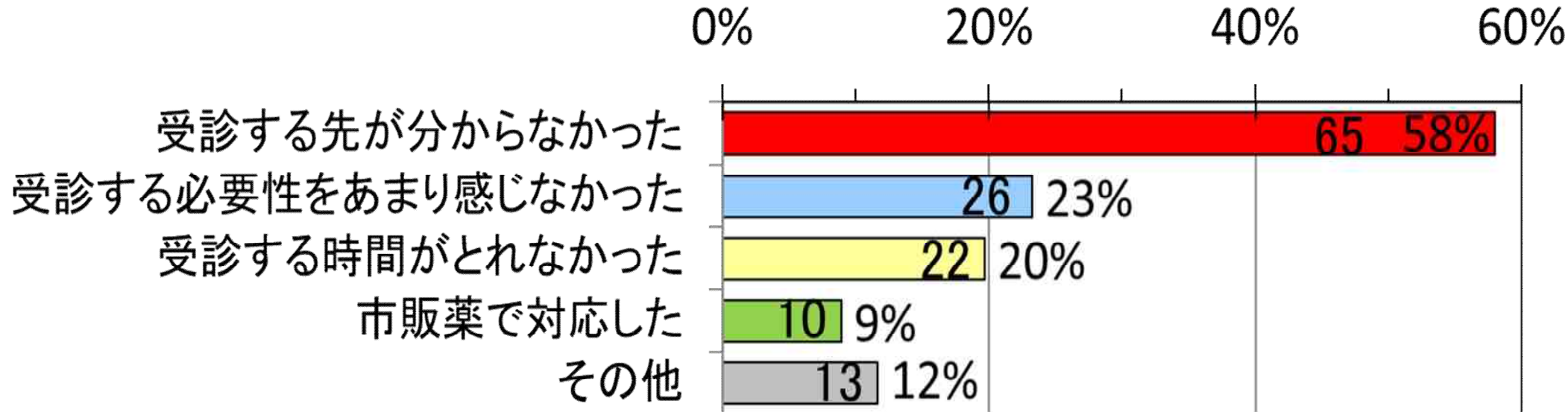
オミクロン株



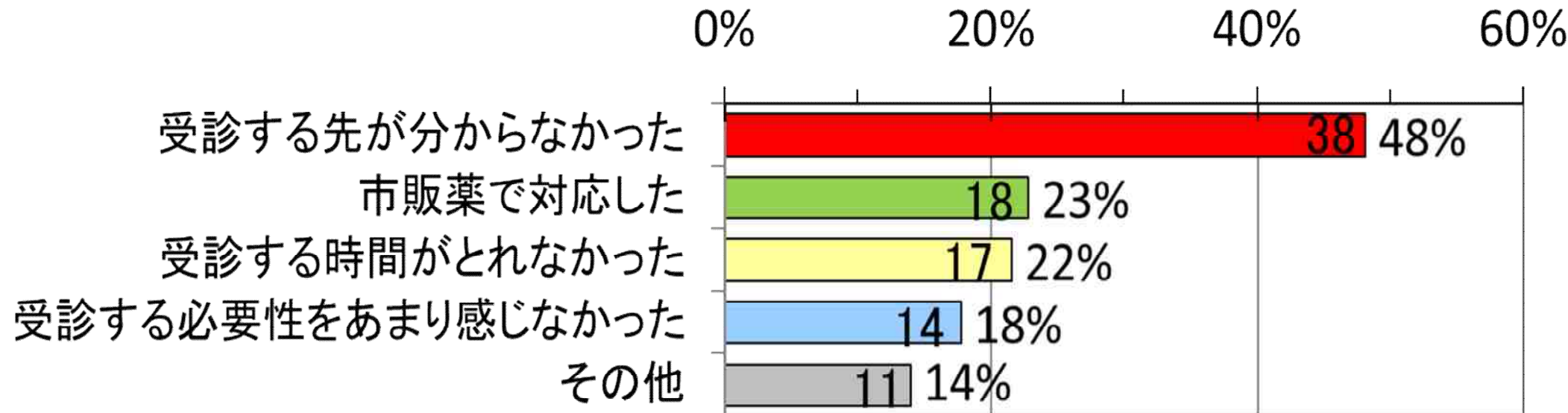
・受診した診療科は、デルタ以前では内科系約5割・耳鼻科約4割に対して、オミクロンでは内科系8割・耳鼻科1割と耳鼻科が減少

# 回答者の受診しなかった理由

デルタ株以前



オミクロン株

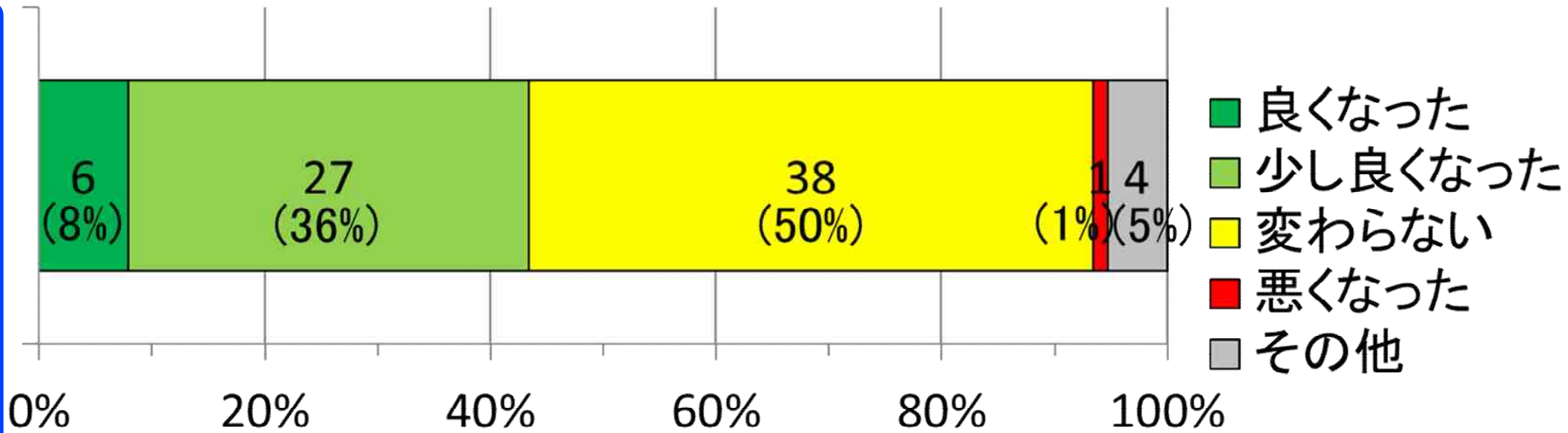


- ・受診先が分からないという理由は、デルタ以前に比べてオミクロンで10ポイント減少
- ・市販薬で対応したという理由は、オミクロンで10ポイント以上増加

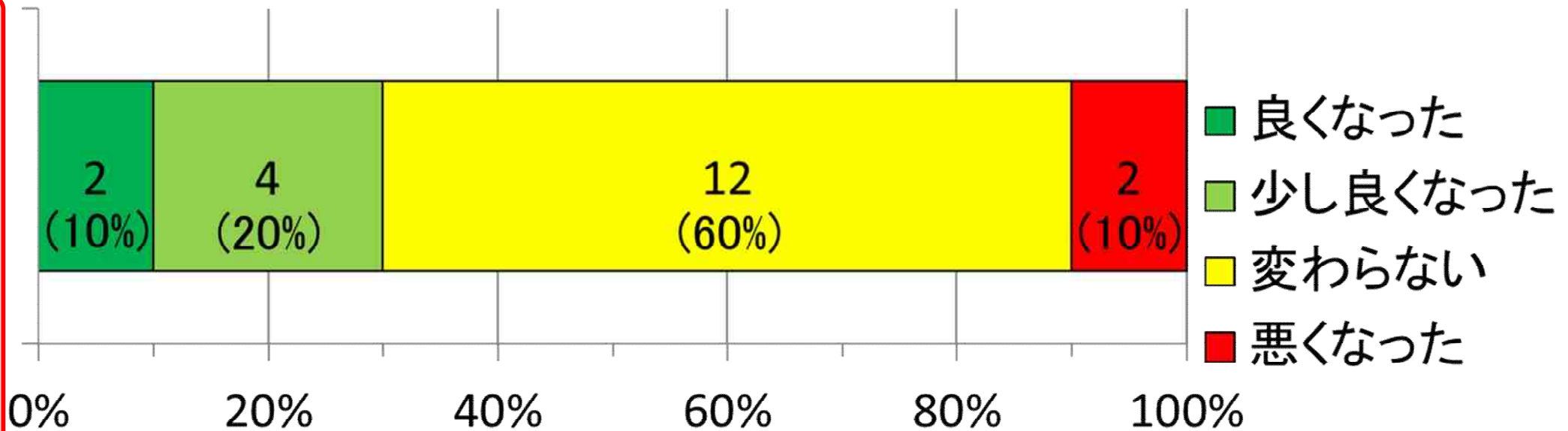


# 回答者の受診後の症状の変化

デルタ株以前



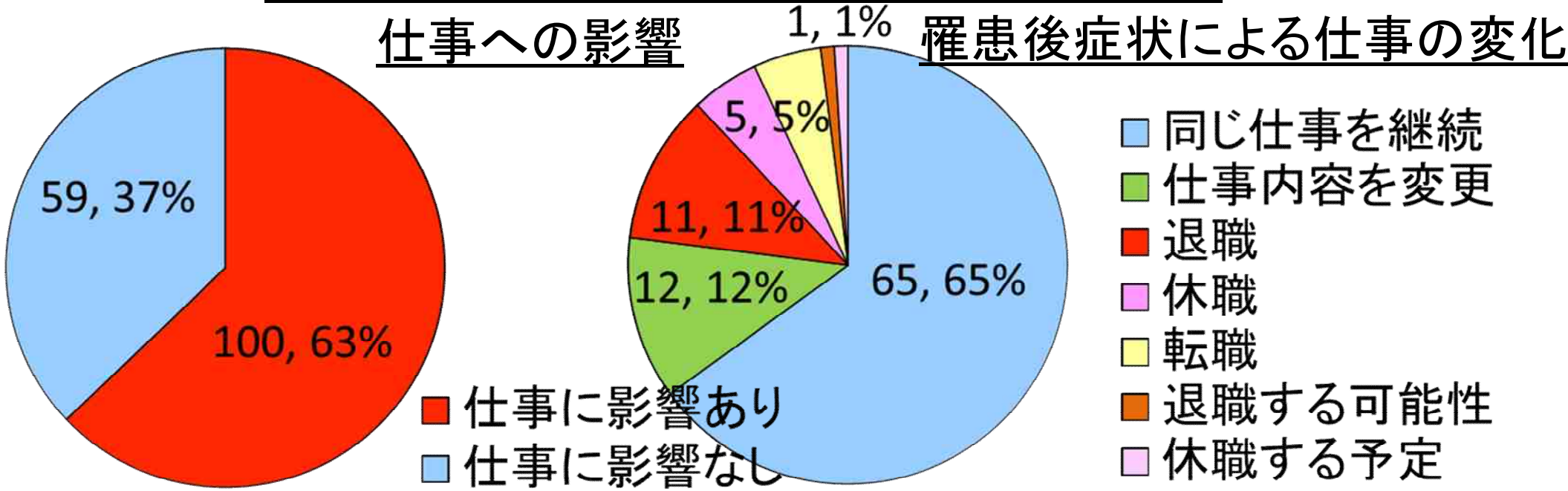
オミクロン株



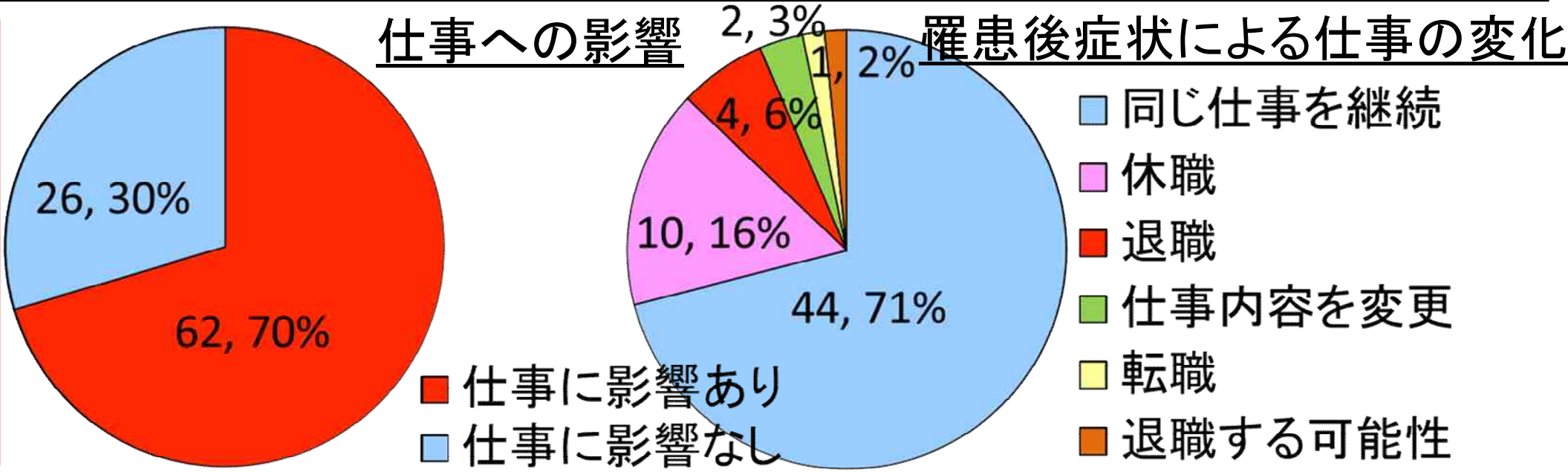
- ・受診後の症状改善は、デルタ以前の約4割に比べて、オミクロンでは3割に減少
- ・症状不変や悪化は、デルタ以前と比べてオミクロンでは約10ポイント増加

# 回答者の後遺症の仕事への影響

デルタ株以前



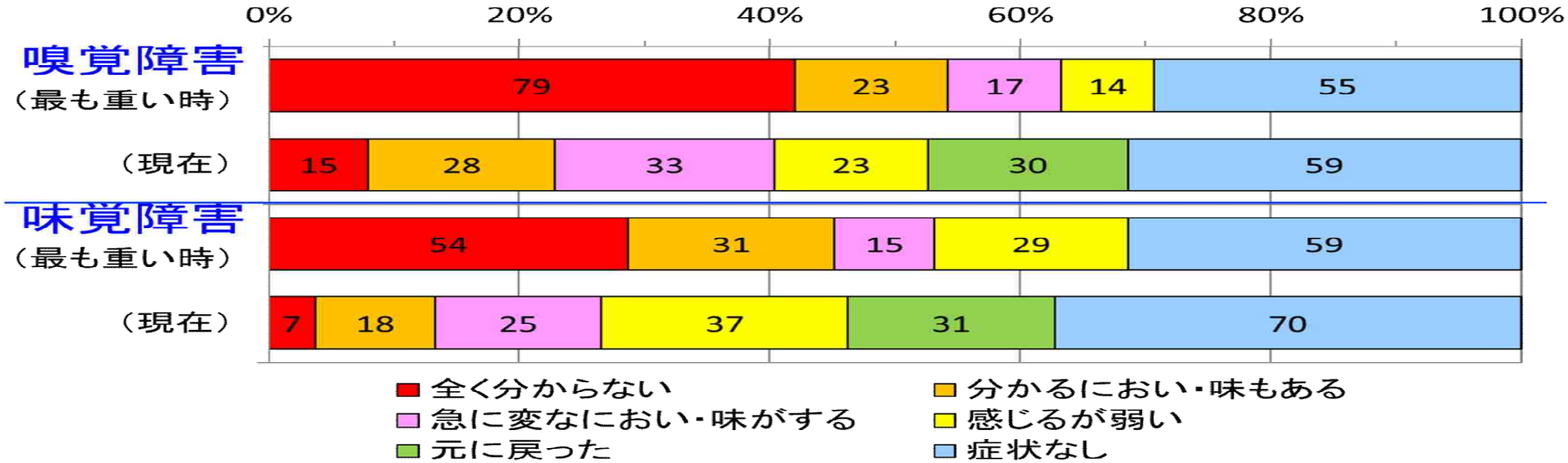
オミクロン株



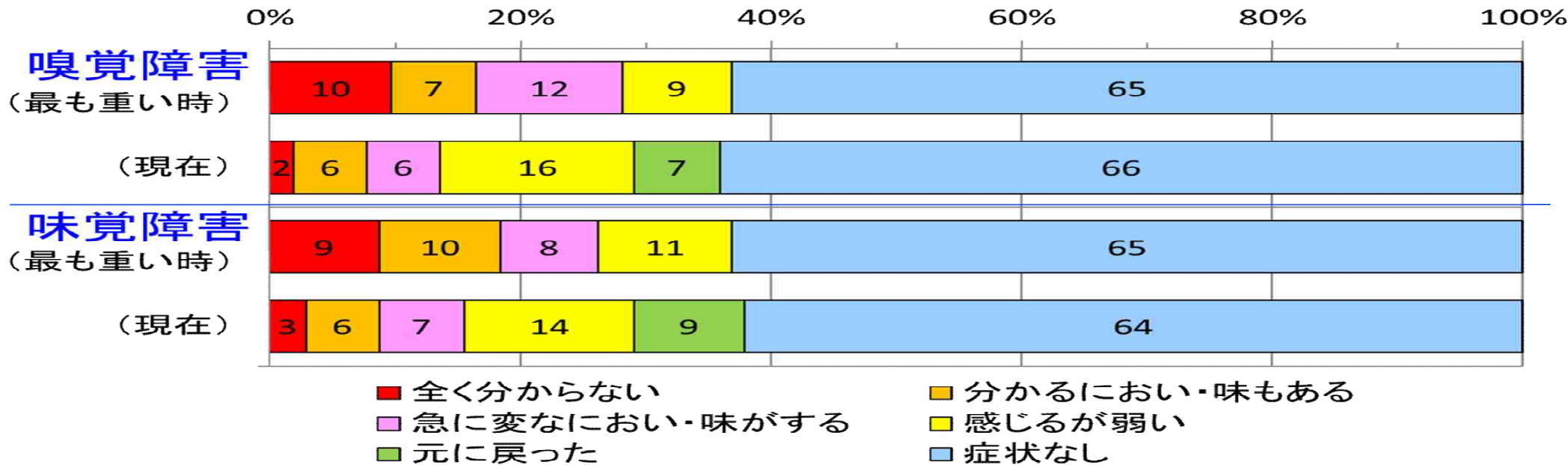
・後遺症が仕事に影響した割合は、デルタ以前・オミクロンともに約7割  
 ・仕事の影響のうち、退職・休職等は約3割で同様だが、休職がオミクロンで10P増加

# 回答者の嗅覚・味覚障害

デルタ株以前



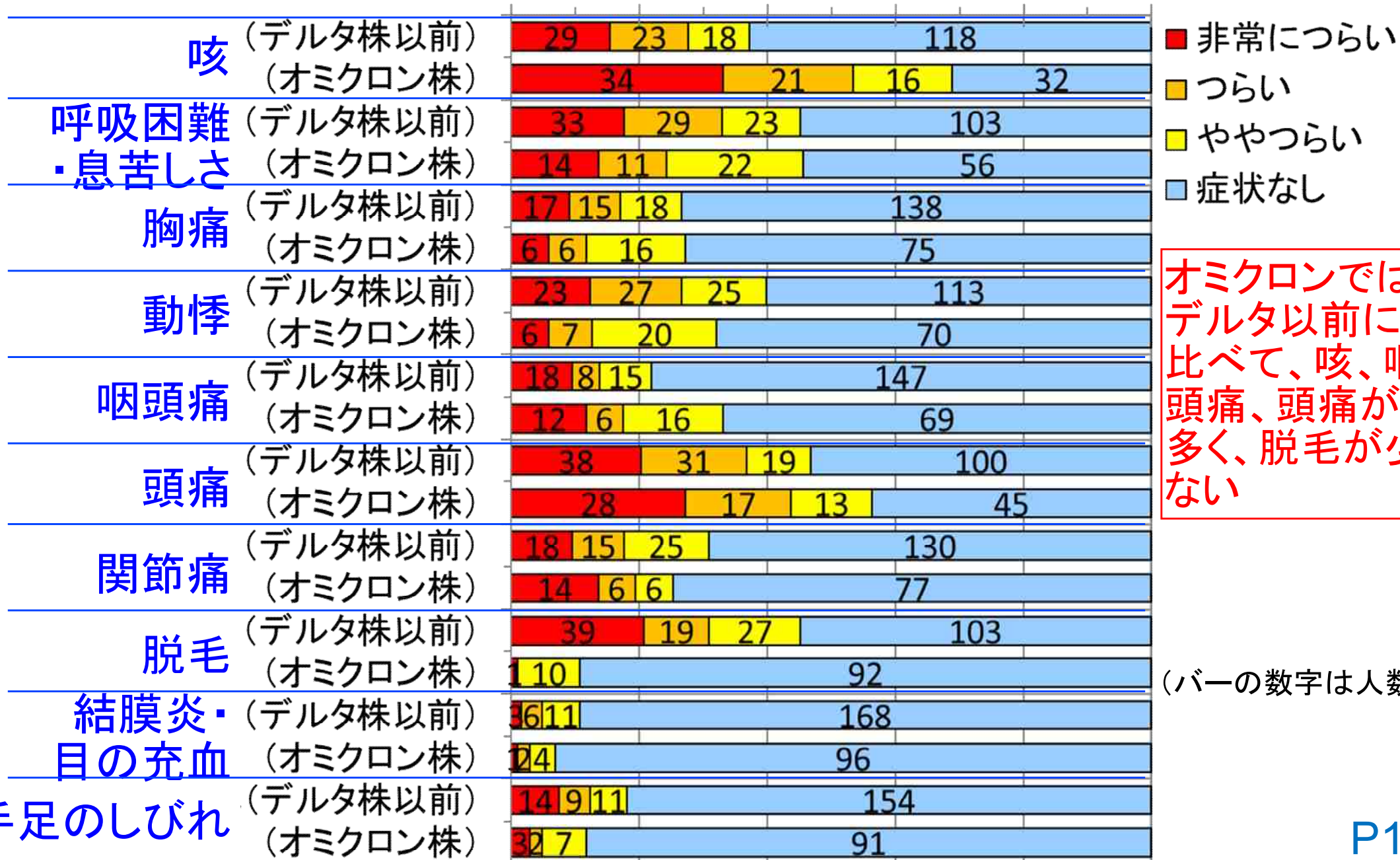
オミクロン株



・嗅覚・味覚障害は、デルタ以前では最も症状が重いときに回答者の約7割、回答時に約半数に認めましたが、オミクロンでは各々約4割、約3割に減少

# 回答者のつらい症状の違い(最も重い時)①

0% 20% 40% 60% 80% 100%

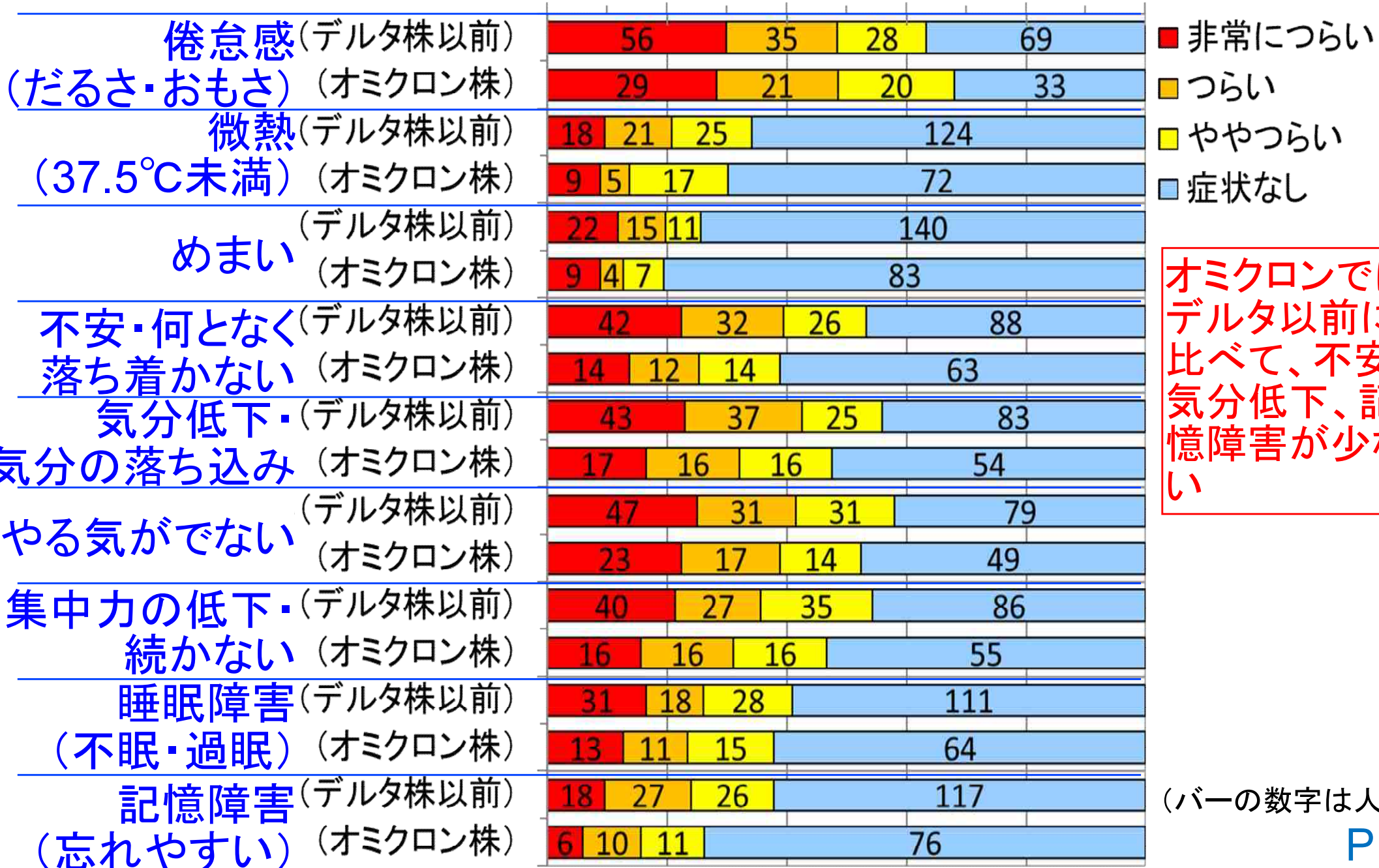


オミクロンでは、デルタ以前に比べて、咳、咽頭痛、頭痛が多く、脱毛が少ない

(バーの数字は人数)

# 回答者のつらい症状の違い(最も重い時)②

0% 20% 40% 60% 80% 100%

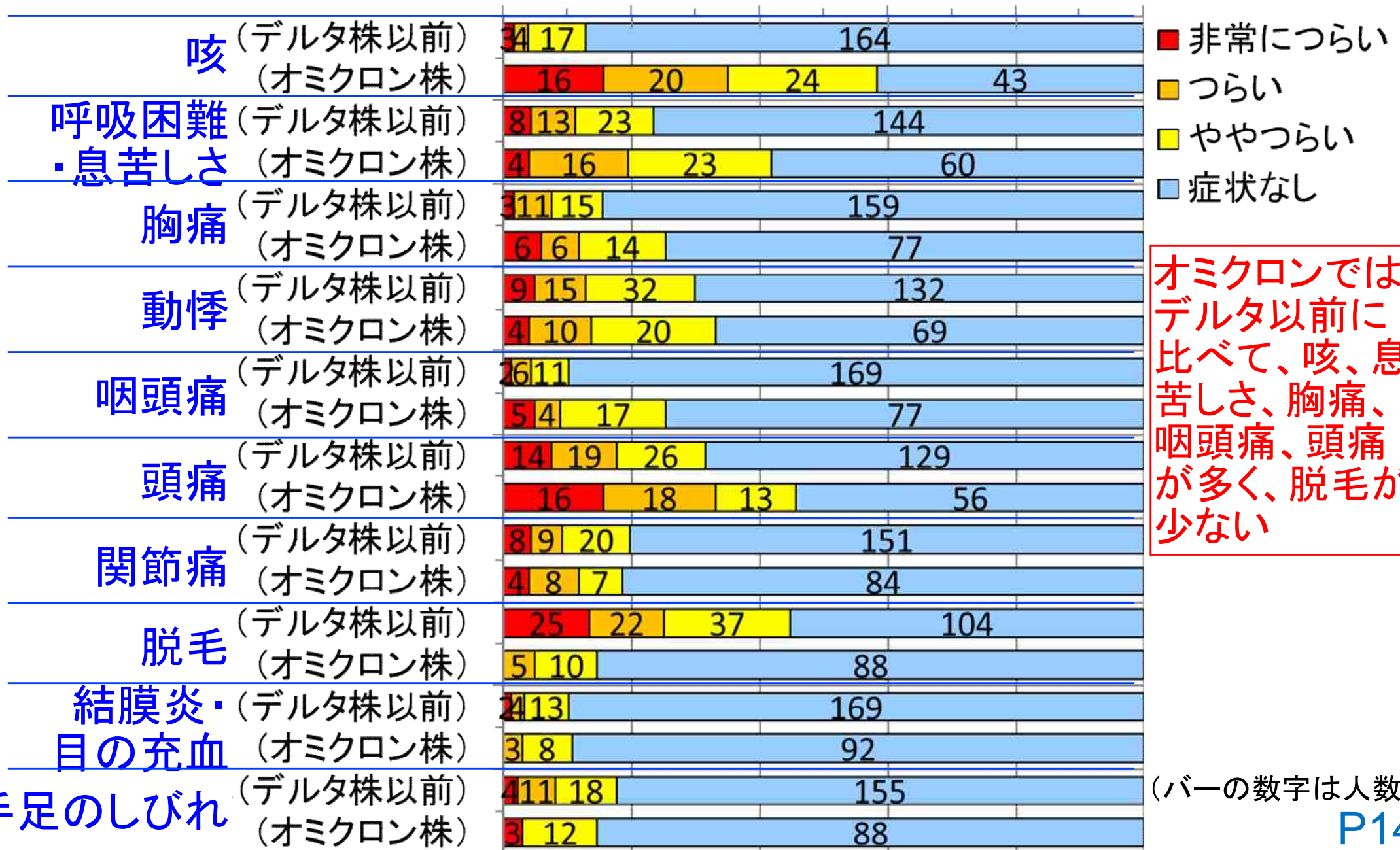


オミクロンでは、  
デルタ以前に  
比べて、不安、  
気分低下、記  
憶障害が少な  
い

(バーの数字は人数)

# 回答者のつらい症状の違い(回答時)①

0% 20% 40% 60% 80% 100%

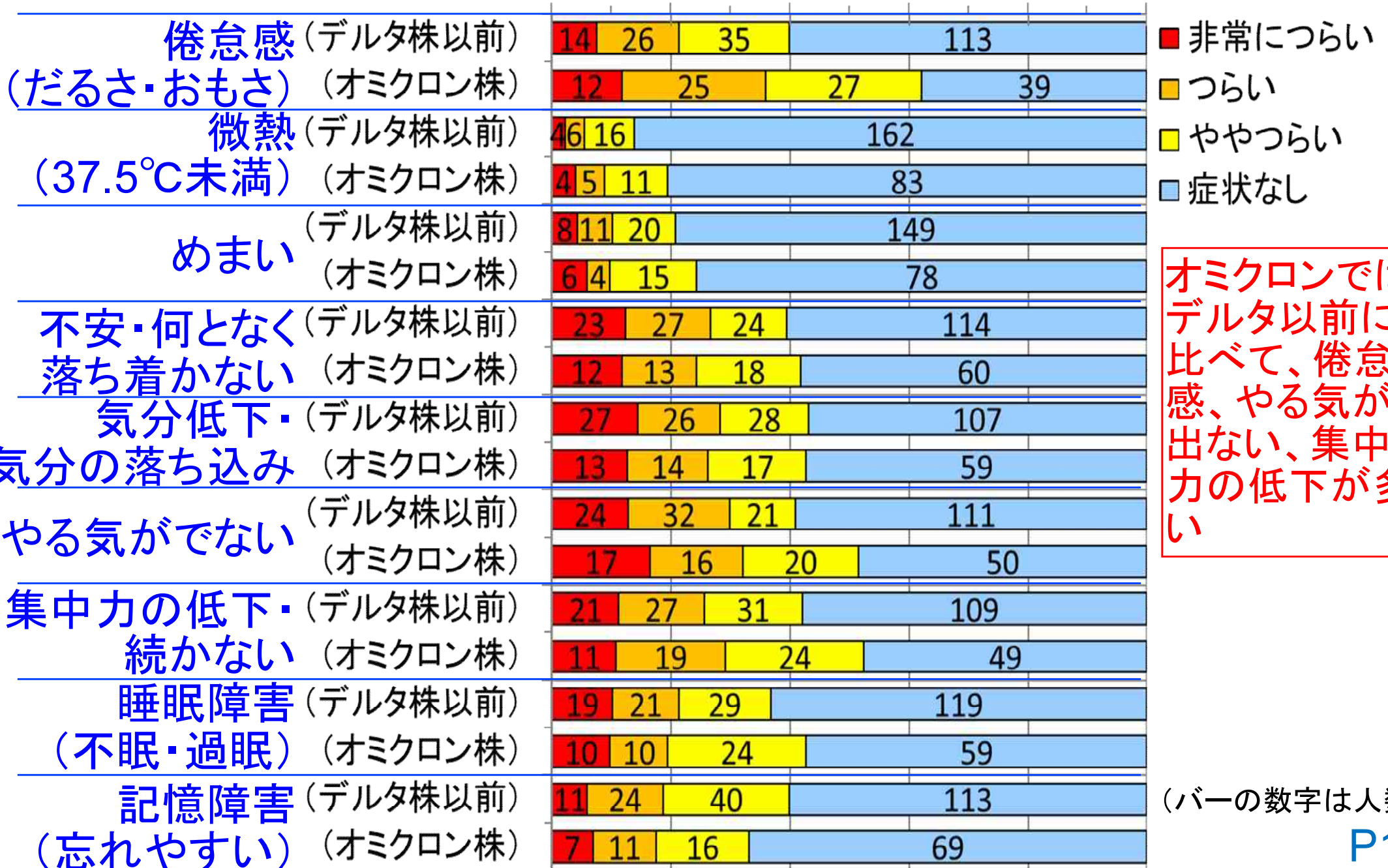


オミクロンでは、デルタ以前に比べて、咳、息苦しさ、胸痛、咽頭痛、頭痛が多く、脱毛が少ない

(バーの数字は人数)

# 回答者のつらい症状の違い(回答時)②

0% 20% 40% 60% 80% 100%

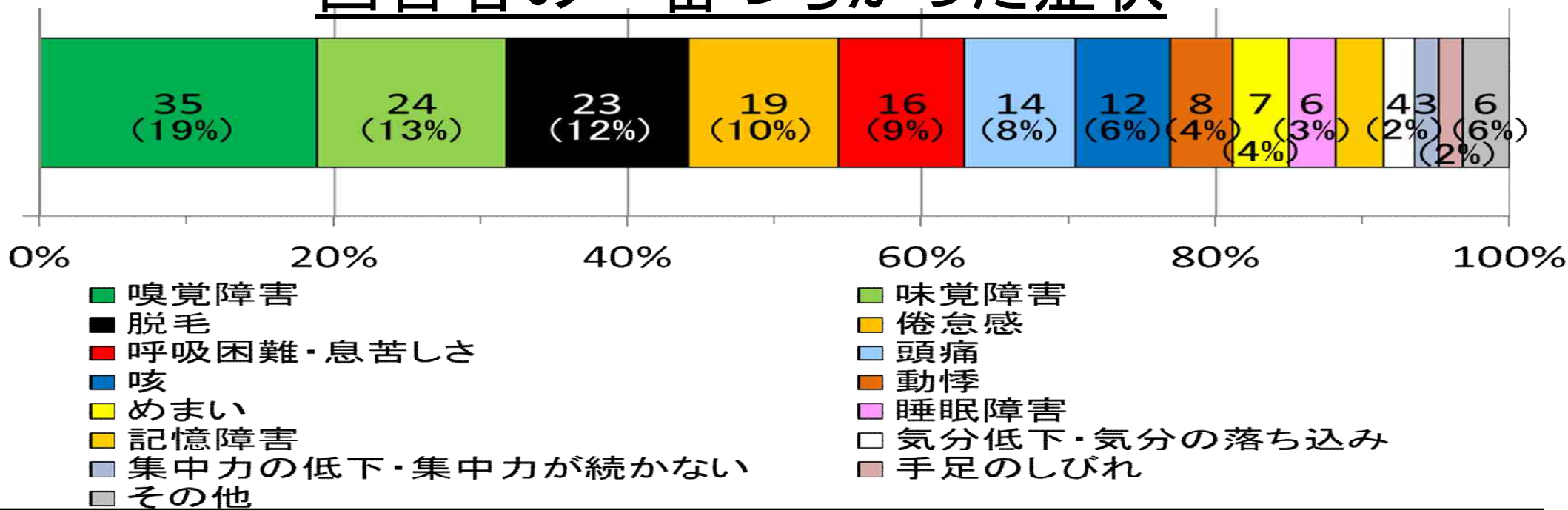


オミクロンでは、デルタ以前に比べて、倦怠感、やる気が出ない、集中力の低下が多い

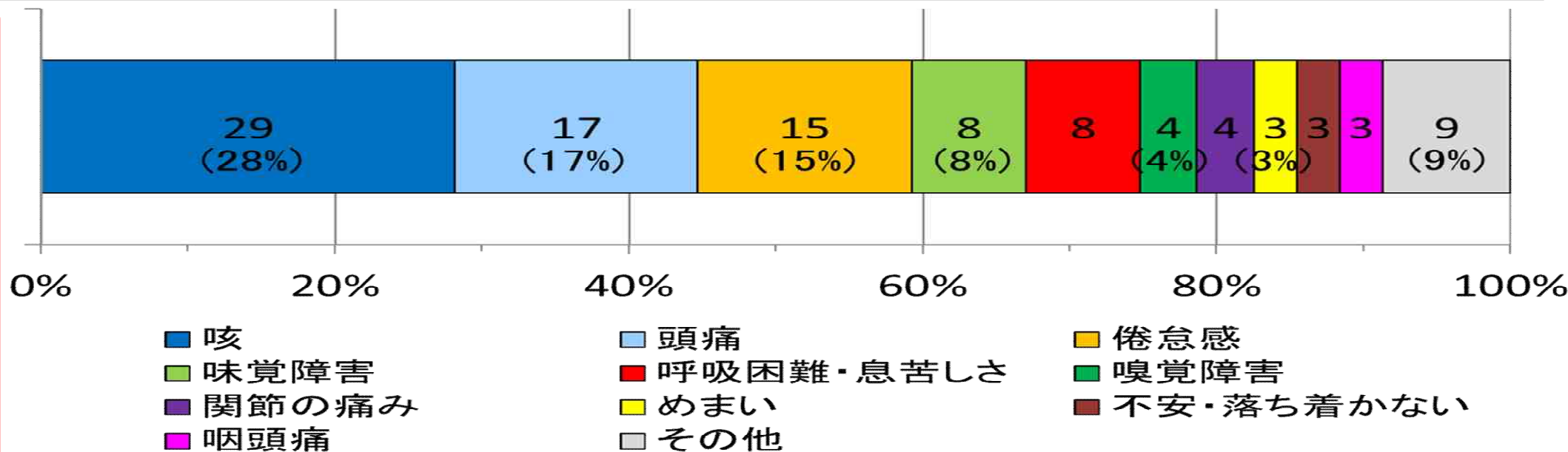
(バーの数字は人数)

# 回答者の一番つらかった症状

デルタ株以前



オミクロン株



・多い順に、デルタ以前では嗅覚障害、味覚障害、脱毛、倦怠感、息苦しさだが、オミクロンでは咳、頭痛、倦怠感、味覚障害、息苦しさであった



# まとめ

1. 推定される感染株がデルタ株以前の188人と、オミクロン株の103人を比較した。ともに女性が約7割を占めた。オミクロン株では20、30歳代の割合が増加し40歳代が減少した。
2. ワクチン接種による後遺症の改善は、デルタ株以前もオミクロン株も2割弱だった。
3. 受診率は、デルタ株以前の4割に対してオミクロン株では約2割と低下したが、受診先はともにかかりつけ医と近隣医療機関が主体で約3割ずつだった。
4. 受診した診療科は、デルタ株以前では内科系約5割・耳鼻科約4割に対して、オミクロン株では内科系8割・耳鼻科1割と味覚・嗅覚障害減少のためか耳鼻科が減少した。
5. 受診先が分からず受診しなかった者は、デルタ株以前に比べてオミクロン株で10ポイント減少し、市販薬で対応した者は、オミクロン株で10ポイント以上増加した。
6. 受診後の症状改善は、デルタ株以前の約4割に比べて、オミクロン株では3割に減少し、不変や悪化は逆に約10ポイント増加したが、後遺症の期間が短いためかもしれない。
7. 後遺症が仕事に影響した割合は、デルタ株以前・オミクロン株ともに約7割で、仕事の影響のうち、退職・休職等は約3割で同様だが、休職がオミクロン株で10ポイント増加した。
8. 嗅覚・味覚障害は、デルタ株以前では最も症状が重いときに回答者の約7割、回答時に約半数に認めたが、オミクロン株では各々約4割、約3割に減少した。
9. つらい症状は、デルタ株以前に比べてオミクロン株では症状の重いときは、咳、咽頭痛、頭痛が多く、脱毛、不安、気分低下、記憶障害が少なく、回答時は、咳、息苦しさ、胸痛、咽頭痛、頭痛、倦怠感、やる気が出ない、集中力の低下が多く、脱毛が少ない。
10. 一番つらかった症状は、多い順に、デルタ株以前では嗅覚障害、味覚障害、脱毛、倦怠感、息苦しさ、オミクロン株では咳、頭痛、倦怠感、味覚障害、息苦しさであった。 P17